

訴訟の略称	事件番号	請求金額	訴訟の概要
	金沢地裁平成 15 年(ワ)第 542 号	330	トンネル建設工事で粉じん作業に従事した労働者が、じん肺に罹患した責任は国にあるとして損害賠償を請求したもの。(国土交通省、農林水産省と共同。ゼネコンと原告全てとの和解成立。)
	新潟地裁平成 15 年(ワ)第 274 号	283	トンネル建設工事で粉じん作業に従事した労働者が、じん肺に罹患した責任は国にあるとして損害賠償を請求したもの。(国土交通省、農林水産省と共同。ゼネコンと原告一部との和解成立。)
	札幌地裁平成 15 年(ワ)第 510 号	168	トンネル建設工事で粉じん作業に従事した労働者が、じん肺に罹患した責任は国にあるとして損害賠償を請求したもの。(国土交通省、農林水産省、防衛施設庁と共同。ゼネコンと原告全てとの和解成立。)
	東京地裁平成 14 年(ワ)第 25458 号	151	トンネル建設工事で粉じん作業に従事した労働者が、じん肺に罹患した責任は国にあるとして損害賠償を請求したもの。18.7.7 敗訴。東京高裁へ控訴済み。(国土交通省、農林水産省、防衛施設庁と共同)
原爆症認定申請却下処分取消等請求事件	大阪高裁平成 18 年(行コ)第 58 号 外 89 件	576	医療認定申請却下処分の取消及び損害賠償を請求したもの。
MMR 訴訟	大阪高裁平成 15 年(ホ)第 1329 号	350	MMR ワクチン(乾燥弱毒生麻疹おたふくかぜ風しん混合ワクチン)の接種により後遺障害及び死亡したとして損害賠償を請求したもの。
予防接種損害賠償請求事件	大阪高裁平成 15 年(ホ)第 1328 号	289	MMR ワクチン接種後に死亡し、又は後遺障害が残ったとして逸失利益及び慰謝料等の損害賠償を請求したもの。
	福島地裁いわき支部平成 15 年(ワ)第 72 号	89	種痘の予防接種を受け、障害になったことに対して、国、都、市に損害賠償を請求したもの。
損害賠償請求事件(医療事故繰り返し医師不処分)	津地裁四日市支部平成 15 年(ワ)第 1 号	172	麻酔ショックにより意識不明状態となった産婦の夫らが、主治医及び国に対して損害賠償を請求。国に対しては、右主治医は過去に医療ミスを起こしており医師法を適切に運用し行政処分を行っていれば本件事故は起こらなかったとし、国の違法な不作為による損害として賠償を請求したもの。
C J D 訴訟	東京地裁平成 13 年(ワ)第 23774 号	170	ヒト乾燥硬膜の移植を受けて、クワイフェルト・ヤコブ病に罹患したとして損害賠償を請求したもの。平成 14 年 3 月 25 日基本和解合意。
	外 14 件		

訴訟の略称	事件番号	請求金額	訴訟の概要
イレッサ訴訟	東京地裁平成 16 年(ワ)第 25016 号	148	肺癌治療薬「イレッサ錠 250」の副作用により間質性肺炎を発症又は死亡したとして損害賠償を請求したもの。
	東京地裁平成 18 年(ワ)第 2108 号		
	大阪地裁平成 16 年(ワ)第 7990 号		
	大阪地裁平成 16 年(ワ)第 207 号		
	大阪地裁平成 17 年(ワ)第 3935 号		
	大阪地裁平成 17 年(ワ)第 7426 号		
H I V 訴訟	東京地裁平成 13 年(ワ)第 9542 号	74	血友病治療薬である血液凝固因子製剤の使用によりヒト免疫不全ウイルス (HIV)に感染したとして損害賠償を請求したもの。平成 8 年 3 月 29 日基本和解合意。
	大阪地裁平成 16 年(ワ)第 7841 号		
	東京地裁平成 17 年(ワ)第 18273 号		
	東京地裁平成 17 年(ワ)第 22362 号		
損害賠償等請求控訴事件 (横浜たばこ訴訟)	横浜地裁平成 17 年(ワ)第 141 号	31	たばこによる健康被害について、国及びたばこ販売社等が適切な処置を怠ったとして損害賠償を請求したもの。 (※金額は合計額であり、厚生労働省分の訴訟額は不明)
その他 19 件		705	
合計		86,026	

(注) 訴訟の見込みに関わらず、全ての訴訟額を記載している。

4. 翌年度以降支出予定額

(1) 歳出予算の繰越 100,640 百万円

(2) 国庫債務負担行為による負担額

(単位：百万円)

事項	翌年度以降への繰越債務額
財政法第 15 条第 1 項の規定に基づく国庫債務負担	8,766

5. 追加情報

(1) 出納整理期間

一般会計は、出納整理期間が設けられており、出納整理期間中の現金の受払い等を終了した後の計数をもって会計年度末の計数としている。